あいさつ

山々に雪の便りが届く季節となりました。

いよいよ2023～2024シーズンの幕開けを待つばかりとなりました。

　日頃は、当連盟の諸事業にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

　さて昨シーズンは、降雪が少ない時期もありましたがほぼ県内で予定されていた大会及び行事が多くの関係者のご協力により実施できたことに感謝申し上げます。

　先シーズンを振り返りますと、小山敬之がFarEastCup男子SL優勝、山口蓮太が全国高等学校スキー・全国高等学校選抜スキー・JOCジュニアオリンピックカップの男子フリーでそれぞれ優勝を収め、３冠を手にいたしました。このことは県内選手のモチベーションアップにつながったことと思います。また、富山県南砺市たいらで開催された常陸宮賜杯第７２回中部日本スキー大会においては、総合２位の成績となりました。

　次に教育本部関係でも渋谷潤子が第３９回デモンストレーター選考会において、ナショナルデモンストレーターに認定されました。

今後の課題として、ジュニア選手の育成とジュニア層拡大及び県連登録会員の維持があげられます。

ジュニア選手の育成と拡大に向けて、基礎・応用技術を楽しみながら習得でき、飛躍的にレベルアップできるような練習環境の整備を進めていきたいと考えております。

また、スノースポーツの多様化に合わせ現状を把握し、魅力的カリキュラムをスキー場とタイアップして行い、登録会員の確保やスノースポーツの楽しさを実感できるような事業ができないか検討していきたいと思います。

最後に、協賛会員皆様方の長年にわたるご支援に感謝申し上げ、来たるシーズンの諸事業が降雪に恵まれ、会員皆さまのご協力により、スムーズに運営ができ、そしてより多くの成果が上がることを期待し、ご挨拶といたします。

石川県スキー連盟

会長　山本　外勝